

令和元年 11 月 13 日  
中国電力株式会社

原子力発電所の新規規制基準適合性に係る審査会合（第 796 回）  
島根原子力発電所 2 号炉に関する指摘内容（その 2）

<有効性評価：運転停止中の燃料損傷防止>

（崩壊熱除去機能喪失）

なし

（全交流動力電源喪失）

- 手順上，同一の復旧班要員が，原子炉補機代替冷却系の準備よりも輪谷貯水槽（西）から低圧原子炉代替注水槽への補給操作を優先的に実施することを説明すること。

（原子炉冷却材の流出）

- 原子炉冷却材圧力バウンダリ外への原子炉冷却材流出を確認する計装設備の優先順位について明確にすること。

（反応度の誤投入）

- SRM 及び IRM の計測範囲を示すとともに，停止時の反応度の誤投入におけるスクラムに至るまでの動作の過程を説明すること。
- 保守的な制御棒価値および局所ピーキング係数を用いて燃料エンタルピを評価することで，縮約操作に伴う軸方向出力分布及び径方向出力分布の不確かさを包絡していることを説明すること。

以上